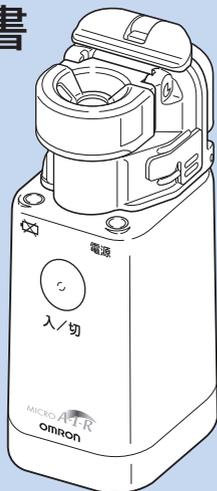


取扱説明書



MICRO A-I-R™

- このたびは、オムロン製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
- 安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 本書はいつもお手元においてご使用ください。
- 本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

- 本製品は医療用です。必ず医師の指導に従って正しくご使用ください。また、薬剤の種類、用量、用法についても必ず医師の指導に従ってください。
- 一般家庭での、のど、鼻の粘膜の加湿を目的とした家庭用吸入器の用途には適しません。
- 本製品の噴霧特性は、薬液の性質によって異なります。特に薬液溶解剤や去痰剤など界面活性や粘性の高い薬液では、噴霧量が少なくなることがあります。また薬液の温度が低いときも噴霧量が少なくなることがあります。
- 精製水は噴霧できません。

ご使用の前に

使用目的	1
安全上のご注意	2
製品の特長	6
製品の構成	6
本体各部のなまえとはたらき	7
本体を組み立てる	9

正しい使いかた

電源の準備	11
薬液の入れかた	13
噴霧モードの選びかた	15
吸入のしかた	16
吸入後のお手入れ	17

消毒について

消毒の方法	22
メッシュキャップの交換について	23

こまったときに・保証など

携帯のしかた	24
おかしいな?と思ったら	25
仕様/別売品について	27
製造者による宣言	29
保証規定/品質保証書	裏表紙

■ 本書に記載しているイラストはイメージ図です。

使用目的

目的 本製品は呼吸器疾患の吸入療法に使用することを目的としています。

対象使用者

- 医師、看護師、療法士などの専門知識を有した医療従事者
- 医療従事者の指導を受けた介護者および患者本人
- NE-U22 の全般的な操作と取扱説明書の文章を理解できる人

対象患者 意識がないまたは自発呼吸下でない患者に使用しないでください。

環境 一般家庭の屋内で使用することを意図しています。病院、医院、医療施設などの病棟屋内での使用は意図しませんが、使用は可能です。

耐用期間 常温（23℃）で1日3回各10分、生理食塩水を噴霧した場合の目安で以下のとおりです。使用環境条件によって変化し、使用頻度により耐用期間が短くなることがあります。

本体、専用 AC アダプタ	5 年
薬液ボトル、メッシュキャップ、マスクアダプタ、マウスピース、吸入マスク(小)、吸入マスク(大)(別売品)	1 年
エアフィルタ	60 日

使用上の注意 取扱説明書に記載の警告と注意を守ってください。

安全上のご注意

お使いになる前によくお読みください

ご使用の前に

安全上のご注意

- ここに示した警告サインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告サイン	内 容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例



△記号は注意（警告・危険を含む）を示します。
具体的な注意内容は、△の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は“感電注意”を示します。



⊘記号は禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は“分解禁止”を示します。



●記号は強制（必ず守ること）を示します。
具体的な強制内容は、●の中や近くに文章や絵で示します。
左図の場合は“一般的な強制”を示します。

警告

薬液の種類、容量、用法については、必ず医師の指導に従ってください。
使用中に何か異状を感じた場合、すぐに使用を止め、担当医師にご相談ください。
●症状が悪化する恐れがあります。

麻酔回路またはベンチレーター呼吸回路で使用しないでください。
●事故の原因になります。

ご購入後、初めてお使いになるときや、長期間で使用にならなかったときは薬液ボトル、メッシュキャップ、吸入マスク、マウスピース、マスクアダプタを洗浄・消毒してください。(☞ 17～22 ページ)
●雑菌が繁殖し、感染する恐れがあります。

薬液ボトル、メッシュキャップ、吸入マスク、マウスピース、マスクアダプタは使用後毎回、洗浄・消毒してください。(☞ 17～22 ページ)
洗浄・消毒した部品は、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管してください。
●雑菌が繁殖し、感染する恐れがあります。

複数の人が使用する場合は、必ず使用する人ごとに消毒済みの薬液ボトル、メッシュキャップ、吸入マスク、マウスピース、マスクアダプタをご使用ください。
●感染する恐れがあります。



 **警告**

乳幼児やお子様の手の届くところに置かないでください。

- メッシュキャップなど小さな部品を飲み込む恐れがあります。また本体を破損したり、けがの原因となります。万一、飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。

可燃性ガス雰囲気内で使用しないでください。

- 火災の原因になります。

本体が故障した場合、すぐに使用を中止してください。

- 本体の温度が 100℃ まで達する可能性があり、やけどや火災の原因となります。

湿度の高い場所で使用または保管しないでください。

高温になる場所に専用 AC アダプタを近づけないでください。

- 感電や火災、けがの原因になります。

専用 AC アダプタを、濡れた手でコンセントに抜き差ししないでください。

- 感電ややけどをする恐れがあります。

本体や専用 AC アダプタを水洗いしたり、水に浸したり、薬液をこぼしたりしないでください。こぼした場合は、速やかにガーゼで拭き取ってください。

- 漏電、感電する恐れがあります。
- 故障し、使用できなくなります。

 **注意**

お子様または意思表示できない人に使用する、使用させる場合、決して目を離さないでください。

- 電源コードなどで首が絡まったりし、事故や症状悪化の原因になります。

下記の手順は必ず非障がい者が行ってください。

- 電池の挿入や薬液の充填などを含む吸入の準備
- 使用毎の洗浄や日常的な消毒、本体のお手入れなど

本製品専用の付属品、別売品を使用してください。

- 正常に噴霧せず、症状悪化の原因になります。

顔に薬液が残らないように、マスクを取り外した後必ず顔を拭いてください。

- 肌荒れの原因になります。

薬液消毒後の部品は、水洗いにて十分に消毒液を洗い落としてください。

- 消毒液が残ったまま吸入すると、症状悪化の恐れがあります。

薬液ボトルに 7 ml を超える薬液を入れしないでください。

破損した薬液ボトル、マスクおよびマウスピースは使用しないでください。

- 正常に噴霧せず、症状悪化の原因になります。

人以外に使用しないでください。

- 事故の原因になります。

長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 感電や漏電、火災の原因となります。

使用後と洗浄前には、専用 AC アダプタを電源から抜いてください。

- 感電やけがの原因になります。



 **注意**

ミルトンなどの次亜塩素酸ナトリウム系の消毒液で消毒しないでください。

- メッシュが錆びて使えなくなります。

水を用いての吸入はしないでください。

- 症状が悪化する恐れがあります。

本体や専用 AC アダプタに薬液をこぼさないようにしてください。こぼした場合は、すみやかにガーゼで拭き取ってください。

- 濡れたまま使用すると故障や感電の原因となります。

メッシュや振動子を綿棒、ピンなどで突いたりしないでください。

- 破損し、使用できなくなります。

薬液ボトルやメッシュキャップを水道水で洗う場合は、流水で洗わないでください。

- 破損し、使用できなくなります。

本体や専用 AC アダプタ、薬液ボトル、メッシュキャップを落としたり、強い衝撃を加えたりしないでください。

- 破損し、使用できなくなったり感電の原因となります。

専用 AC アダプタ以外は使用しないでください。また破損した AC アダプタは使用しないでください。

- 火災、感電、本体の故障の原因となります。

専用 AC アダプタは必ず AC100V で使用してください。

また、タコ足配線はしないでください。

- 火災や漏電、感電の原因となります。

専用 AC アダプタの電源コードを誤用しないでください。

本体に電源コードを巻きつけないでください。

電源コードを強く引っ張らないでください。

- 感電や火災、故障の原因となります。

分解や修理、改造をしないでください。

- 感電や漏電、火災、けがの原因となります。



お願い

吸入目的にのみご使用ください。他の目的で使用しないでください。

+40℃を超える温度下で使用しないでください。

使いきった乾電池はすぐに新しいものと交換してください。

種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池の⊕⊖を間違えないようにしてください。

市販のアルカリ乾電池、マンガン乾電池以外の電池を使用しないでください。

電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持っておこなってください。

本体や専用 AC アダプタ、薬液ボトルの電極は清潔に保ってください。

ご使用後毎回、メッシュ、振動子に薬液が残らないように確実に洗浄してください。
薬液ボトル、メッシュキャップや振動子はきれいな水道水や市販の精製水で洗浄してください。

濁った水や市販のミネラルウォーター、井戸水などは使用しないでください。

- メッシュの穴が詰まり、噴霧しなくなります。

各製品の洗浄・消毒後は十分に乾燥させてから組み立ててください。

お手入れにはベンジン、シンナーは使用しないでください。

- 本体が破損する可能性があります。

本体や専用 AC アダプタ、薬液ボトル、メッシュキャップを電子レンジ内で、乾燥したり、煮沸しないでください。

- 故障の原因となります。

高温多湿、直射日光のあたる場所には置かないでください。

薬液ボトルに薬液や水を入れたまま放置したり、携帯しないでください。

- 薬液がこぼれ、本体を傷めたり周囲を汚す恐れがあります。

商用電源から機器を完全に遮断するためには、専用 AC アダプタをコンセントから抜く必要があります。

有毒ガスや揮発性物質雰囲気内で使用または保管しないでください。

長期間（3 ヶ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

ご不要となった本体や付属品、別売品の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

製品の特長

- 1 新しく採用した合金メッシュとチタン振動子で、さらなる高効率噴霧が実現しました
- 2 ポケットサイズでどこでも手軽に持ち運びが可能になりました
ポケットサイズでどこでも手軽に持ち運びできます。(当社 NE-U14 体積比 約 50%)
- 3 さまざまな角度で吸入することが可能になりました
新ボトル構造により、さまざまな角度で吸入することができ、安定した噴霧を実現します。
※本体を水平面上に立てたときなど、振動子部分が薬液に浸っていないときは噴霧しないことがあります。

製品の構成 製品をご確認ください。

箱の中には次のものが入っています。万一、不足のものがありましたら、オムロンお客様サービスセンター（ネプライザ窓口）（☎電話 0120-84-6606）までご連絡ください。

1. 本体カバー
2. 本体
3. 薬液ボトル
4. メッシュキャップ
2個（メッシュ付き）
5. マスクアダプタ
6. マウスピース
7. 吸入マスク（小）
（ゴムひも付き）
8. 専用 AC アダプタ
9. ソフトケース
10. お手入れ説明 DVD
11. 取扱説明書（品質保証書付き）
12. 別売パーツの消毒について
13. 医療機器添付文書

吸入するには、製品の組み立てが必要です。

ご使用前に「本体を組み立てる」をお読みになり、組み立てかたのポイントを理解してください。（👉 9～10 ページ）



本体各部のなまえとはたらき

ご使用の前に

本体各部のなまえとはたらき

メッシュキャップ
霧をつくる合金のメッシュが内部に装着されています。
※消耗部品です。

メッシュキャップカバー
メッシュを保護するためのカバーです。

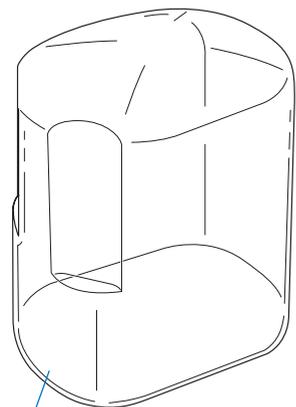
薬液注入口
メッシュキャップを取り外して薬液を入れます。

振動子
先端部が高周波で振動し、薬液をメッシュの穴から押し出します。

電極
本体と薬液ボトルをつなぐ接点です。

電池交換表示灯
電池の容量が少なくなると、だいたい色のランプが点滅します。

スイッチ
押して、電源を入れたり切ったりします。



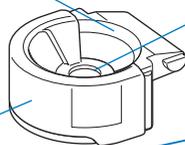
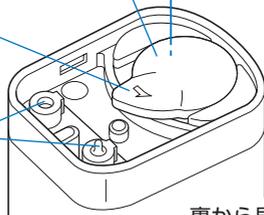
本体カバー

保管や持ち運びのときに使用します。

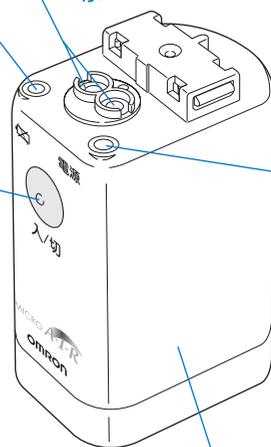
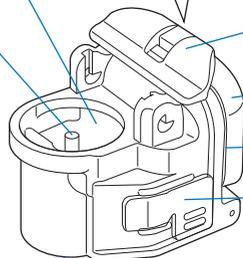
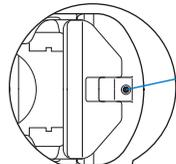
電池カバー

電池カバー取り外しレバー
電池カバーの開閉に使用します。

ACアダプタの電極接続部
本体とACアダプタの電極を接続します。



上から見た図です。



本体

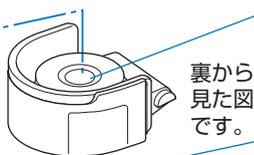
裏から見た図です。

噴霧口
霧の出口です。



メッシュ

微細な穴から効率のよい噴霧を実現します。
※非常に精密な部品です。大切に取扱ってください。



空気穴

噴霧を安定させるための穴です。

薬液ボトルキャップ固定レバー

ボトルキャップを開けるときに使うレバーです。
※洗浄時以外は、開けないでください。

薬液ボトルキャップ

薬液ボトル

薬液が入るボトルです。

薬液ボトル取り外しボタン

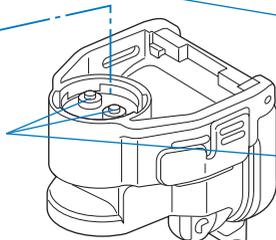
両側のボタンを押して薬液ボトルを本体から、取り外します。

電極

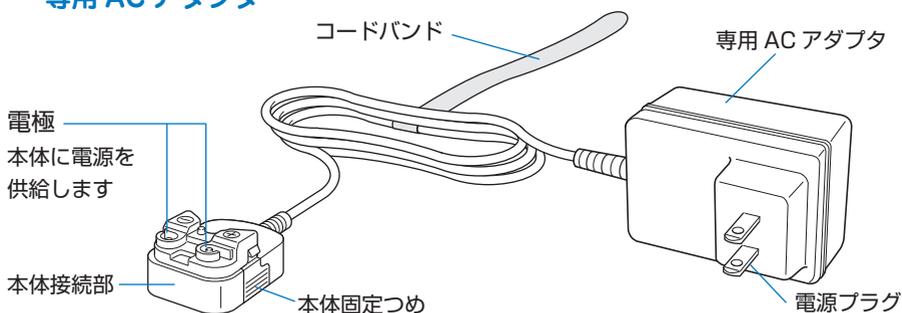
本体と電源の接続をします。

電源表示灯

電源が入ると、みどり色のランプが点灯します。



専用 AC アダプタ



本体を組み立てる

ご使用の前に

本体を組み立てる

下記の組み立ては必ず非障がい者が行ってください。

まず、組み立てかたを確認してください

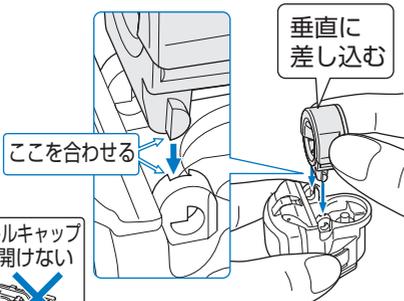
この製品は、各部品を組み立ててから使います。
部品を取り付けるときに、かたく感じるかもしれませんが、これは、薬液がこぼれないように工夫しているためです。

ご使用の前には洗浄・消毒をしてください。
洗浄・消毒後、乾燥させてからご使用ください。 (👉 17～22 ページ)

1 薬液ボトルにメッシュキャップを取り付ける

※メッシュキャップは逆に差し込まないでください。

取り付けが
できました



メッシュキャップと薬液
ボトルは確実に閉めます
※パッキンが効くようにしっ
かり閉めてください。

メッシュキャップは
フタの役目をして
います。



噴霧口に指を
入れない

メッシュの下側
をさわらない

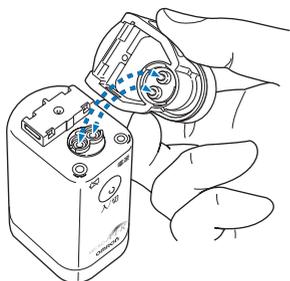
2 薬液ボトルを本体に取り付ける

※正しく取り付けられていないと電源が入りません。

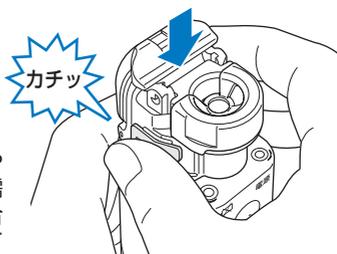
※電極が極度に汚れているときは、正常に霧が出ません。

このようなときは、汚れを拭き取ってください。(👉 21 ページ)

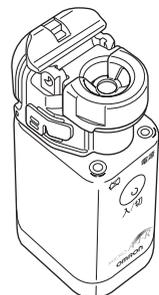
取り付けが
できました



ボトルの裏や
本体上部が濡
れている場合
は拭き取っ
てください。

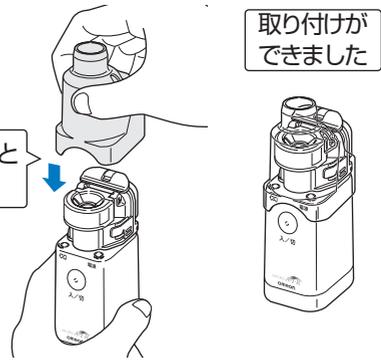


本体に取り付ける



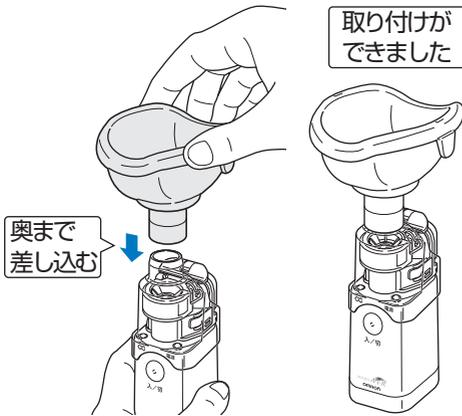
※薬液ボトルを取り付けてから持ち運ぶときは、薬液ボトルを持たずに本体を持ってください。

3 マスクアダプタを本体に取り付ける

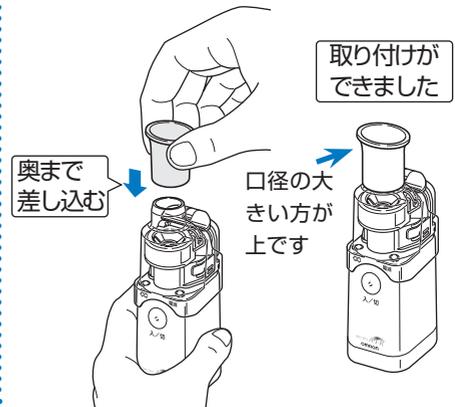


マスクアダプタにマウスピース、または吸入マスク（小）を取り付ける

■ 吸入マスク（小）の取り付けかた



■ マウスピースの取り付けかた



すぐお使いになるかたは・・・

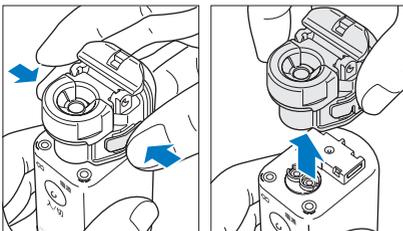
図のようにマスクアダプタ、マウスピースまたは吸入マスク（小）を取り外しておいてください。



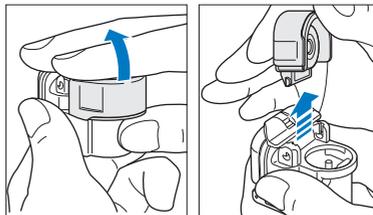
組み立てが終わってもすぐに使用しないかたは・・・

ソフトケースに入れるか、清潔な場所に保管しておいてください。

本体から薬液ボトルを取り外すとき



薬液ボトルからメッシュキャップを取り外すとき



噴霧口に指を入れない
メッシュの下側をさわらない

電源の準備

下記の準備は必ず非障がい者が行ってください。

ご使用の前に電源を接続してください。
電源は、専用 AC アダプタまたは電池（別売）をご使用ください。

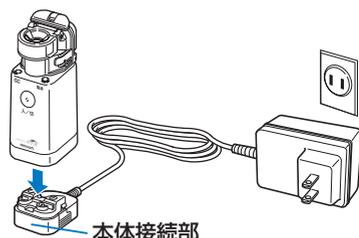
専用 AC アダプタの使いかた

1

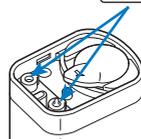
本体に専用 AC アダプタの本体接続部を図のようにして取り付ける

※カチッと音がして、つめがかかるまで押し込みます。

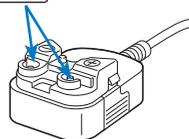
※電極が極度に汚れているときは、正常に霧が出ません。
このようなときは、汚れを拭き取ってください。



電極は清潔に



本体底面



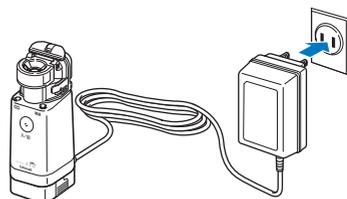
本体接続部

2

専用 AC アダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

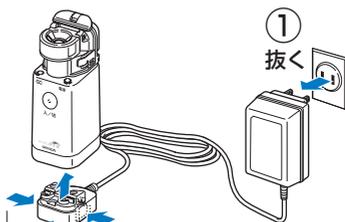
※電源プラグの抜き差しが困難な場所で使わないでください。

接続が完了しました。



本体から専用 AC アダプタを取り外すとき

- ①電源プラグをコンセントから抜きます。
- ②本体接続部の本体固定つめの両側を指で押して、本体を取り外します。



本体接続部

② 両側を押して、本体を取り外す

電池（別売）の入れかた

電池は付属していません。市販のアルカリ乾電池単 3 形 2 本をご使用ください。

1

電池カバーを外す

電池カバー取り外しレバーを

- ①矢印方向に軽く回し、
- ②電池カバーを外します。

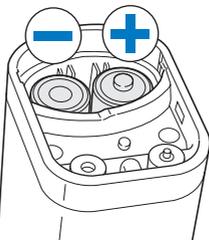
※電池が入っていないときは、少し外しにくくなっています。

本体
底面



2

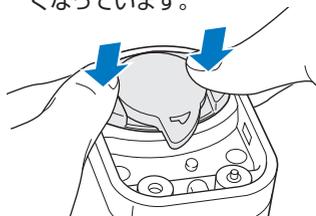
乾電池を電池表示マークに従って⊕⊖を正しく入れる



3

電池カバーを取り付ける

電池カバーを電池収納部にはめ込み、カチッと音がして、つめがかかるまで押し込みます。両端をしっかりと押し込んでください。
※水滴を入りにくくするため固くなっています。



電池の寿命と交換について

■アルカリ乾電池をご使用のとき

約 8 日間吸入できます（1 日 30 分使用）。

電池交換表示灯（だいだい色）が

点滅→まもなく電池が切れます。2 本同時に新しい乾電池と交換してください。

点灯→電池切れです。噴霧しなくなりますので、すみやかに 2 本同時に新しい乾電池と交換してください。

※マンガン乾電池も使用できますが、電池の寿命が極端に短くなります。



お願い

- 使い切った乾電池はすぐに新しいものと交換してください。
- 長期間（3 ヶ月以上）使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。電池を入れたまま長期間使用せず放置しておくと、電池から液が漏れ出し、機器が故障する恐れがあります。
- 指定以外の電池の使用および、古い電池と新しい電池や違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ⊕⊖を間違えないようにしてください。
- 取り扱いに関しては、乾電池に記載されている注意事項をよくお読みください。
- 使用済みの電池は、お住まいの市区町村の指導に従って処分してください。

正しい使いかた

電源の準備

薬液の入れかた

下記の作業は必ず非障がい者が行ってください。

マスクアダプタ、マウスピースまたは吸入マスク(小) を取り外して薬液を入れます。

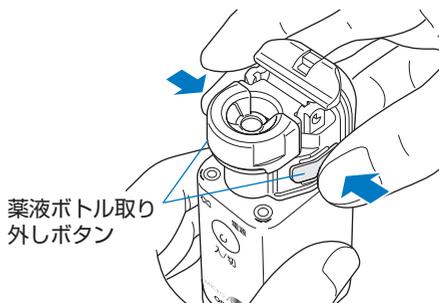
正しい使いかた

薬液の入れかた

1

本体から薬液ボトルを取り外す

両側の薬液ボトル取り外しボタンを押し込み、固定を解除して上方向に持ち上げて取り外します。



2

メッシュキャップを取り外す

薬液ボトルを包みこむように持ちます。



3

薬液を入れる

図のように薬液を入れます。

※薬液は最大 7mL まで入れることができます。



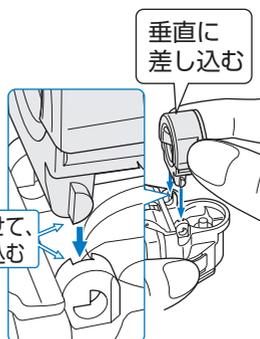
4

メッシュキャップを取り付ける

※しっかり閉まっていない場合、薬液漏れが発生します。



ここを合わせて、奥まで差し込む



※パッキンが効くようになり閉めてください。

メッシュキャップはフタの役目をしてします。



(さかさまにして薬液がこぼれないか確認しましょう)

5

薬液ボトルを本体に取り付ける

※正しく取り付けられていないと電源が入りません。
 ※電極が極度に汚れているときは、正常に霧が出ません。このようなときは、新しいガーゼに水をしみこませて汚れを拭き取ってください。



正しい使いかた

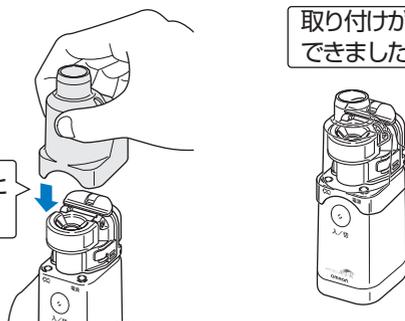
薬液の入れかた

6

マスクアダプタを取り付ける

上からしっかりと
かぶせる

取り付けが
できました

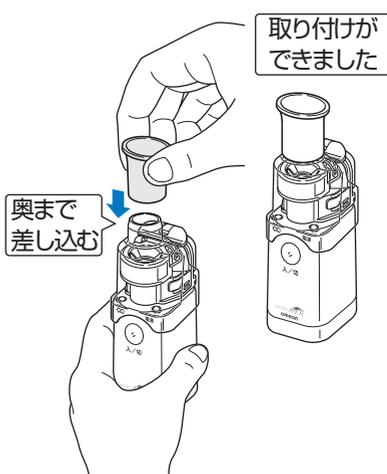
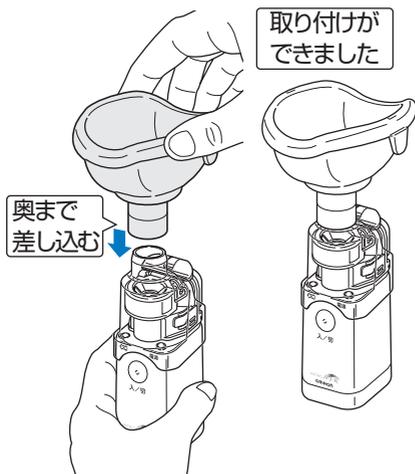


7

吸入マスクまたはマウスピースを取り付ける

■ 吸入マスク (小) の取り付けかた

■ マウスピースの取り付けかた



噴霧モードの選びかた

この製品は、スイッチの押しかたで噴霧モードの選択ができます。

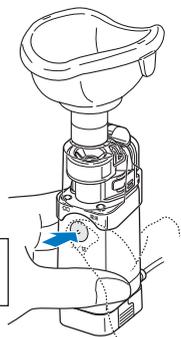
正しい使いかた

噴霧モードの選びかた

連続噴霧モード

スイッチを押してすぐに（約 1 秒以内）離すと、**連続噴霧モード**になります。再度スイッチを押すと、噴霧が止まります。

押してすぐ離す
（約 1 秒以内）

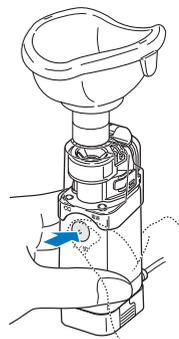


マニュアル噴霧モード

スイッチを押し続ける（約 2 秒以上）と、**マニュアル噴霧モード**になります。

スイッチを押している間だけ噴霧し、離すと止まるモードです。呼吸にあわせた吸入ができます。

押し続ける
（約 2 秒以上）



※噴霧中は電源表示灯（みどり色）が点灯します。

吸入のしかた

1

本体を手に持ち、楽な姿勢で吸入する

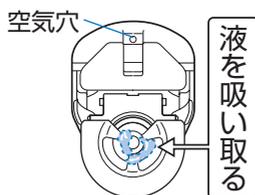
本体（スイッチ側）を手前にして、軽く傾けてください。

振動子部分が薬液に浸るようにしてください。本体を水平面上に立てたときなど、振動子部分が薬液に浸っていないときは噴霧しないことがあります。

吸入時以外は傾けないでください。
薬液がこぼれる恐れがあります。



※メッシュの上に薬液やよだれが溜まると噴霧が停止します。マスクアダプタ、吸入マスクまたはマウスピースを取り外した後、いったんスイッチを切り新しいガーゼで液を吸い取ってください。（界面活性の高い薬液では、メッシュの穴やボトルキャップから薬液がにじみ出すことがあります。また空気穴から薬液がこぼれることがあります）



⚠️ 注意

メッシュや振動子を綿棒、ピンなどで突いたりしないでください。
・破損し、使用できなくなります。



※薬液溶解剤や去痰剤など界面活性や粘性の高い薬液では、噴霧量が少なくなることがあります。

※使用環境等により、マスクとマウスピースは 46℃まで温度が上昇することがあります。

※振動子が薬液に浸っていない状態でスイッチを入れて動作させると

①電池寿命が短くなったり、電池交換表示灯が点滅したり点灯したりすることがあります。

→本体を傾けて振動子部分が薬液に浸っていることを確認してからスイッチを入れて吸入を始めてください。

→吸入口の振動子部分が薬液に浸るようにしてご使用ください。

→薬液を噴霧し終わったら、ただちに電源を切ってください。

②金属音が発生することがありますが異常ではありません。

2

吸入が終わったら、スイッチを押して電源を切る

※専用 AC アダプタを使用しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。（☞ 11 ページ）

正しい使いかた

吸入のしかた

吸入後のお手入れ

下記の作業は必ず非障がい者が行ってください。

吸入後は、毎回必ず洗浄して保管してください

吸入後、毎回洗浄しなかった場合、薬液が乾燥、固着し薬液の噴霧が正常におこなわれなくなることがあります。このようなときはメッシュキャップを煮沸洗浄して、固着した薬液を取り除いてください。(👉 19・20 ページ)

正しい使いかた

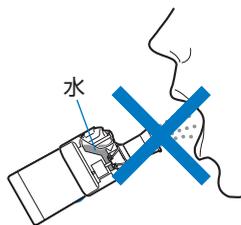
吸入後のお手入れ

1

薬液ボトルに水を入れ、水を噴霧する

使用後はメッシュに残った薬液などの乾燥、固着を防ぐために、薬液ボトルに水を入れ、1～2分水を噴霧してください。

※薬液が残っているときは、薬液を捨ててください。(👉 18 ページ)



※吸入はしないでください。

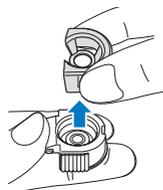
2

本体から部品を取り外す

吸入マスクまたはマウスピース、マスクアダプタ、薬液ボトルを本体から取り外します。(👉 10 ページ)



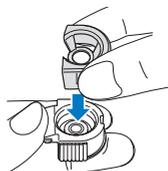
メッシュキャップカバーの取り外しかた



洗浄時に図のようにしてメッシュキャップから取り外すことができます。

※メッシュキャップの中に指を入れないでください。

※洗浄後は必ずメッシュキャップに取り付けておきます。



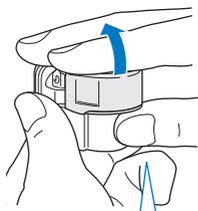
噴霧口に指を入れない
メッシュの下側をさわらない

3

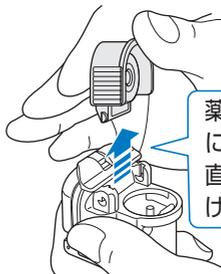
残った薬液を捨てる

メッシュキャップを取り外して、薬液を捨て、薬液ボトルキャップを開けます。

①



親指をつばに当て
上に持ち上げる



薬液ボトル
に対して垂直
に持ち上げる

②

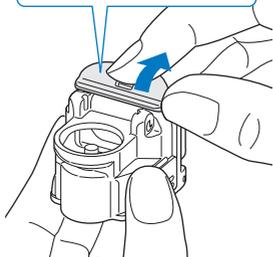


残った薬液を
捨てる

噴霧口に指を
入れない
メッシュの
下側をさわらない

③

薬液ボトルキャップ
固定レバーを外して
開ける



正しい使いかた

吸入後のお手入れ

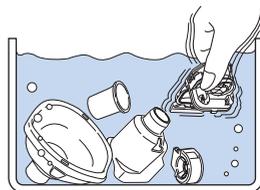
4

十分に水洗いする

吸入マスクまたはマウスピース、マスクアダプタ、薬液ボトル、メッシュキャップをやさしくゆするように水洗いしてください。

※特に薬液溶解剤や去痰剤など、界面活性や粘性の高い薬液は、メッシュに薬液が残りやすいため、入念に洗浄してください。

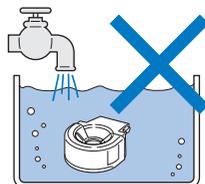
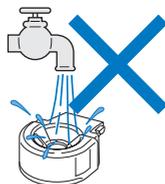
※本体には水がかからないようにしてください。



※本体は洗浄できません。

メッシュキャップは、**流水で洗わないでください。**

※メッシュがこわれます。ボールなどに水をためて軽くふりながらやさしく洗ってください。



下記の部品は、煮沸洗浄が可能です。



メッシュキャップ



マウスピース



マスクアダプタ

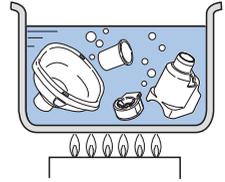


吸入マスク

メッシュは目づまりを防ぐために、少なくとも週に一度は煮沸しましょう。他の部品についても、清潔にお使いいただくために、週に一度は煮沸洗浄することをおすすめします。

煮沸洗浄のしかた

- ① 十分な水を入れた容器の中に、煮沸洗浄できる部品を入れ沸騰させます。
- ② 沸騰したらそのまま 10～30 分煮沸します。



煮沸洗浄できない部品



薬液ボトル



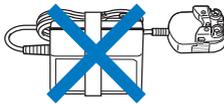
本体



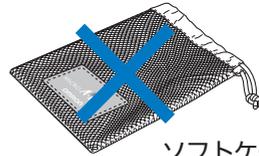
本体カバー



電池カバー



専用 AC アダプタ



ソフトケース

正しい使いかた

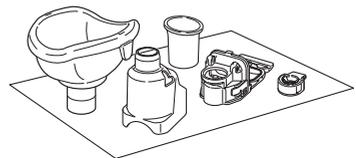
吸入後のお手入れ

5

十分に乾燥させる

水洗いが終わったら、すぐに水分を新しいガーゼで拭き取って、十分に乾燥させてください。

※電子レンジによる乾燥は、絶対にしないでください。



お願い

ティッシュペーパーや布などでは、絶対に拭き取らないでください。

- ホコリや糸くずがメッシュに残り、噴霧に影響することがあります。

噴霧口に指を入れない

メッシュの下側をさわらない

6

本体の汚れを拭き取る

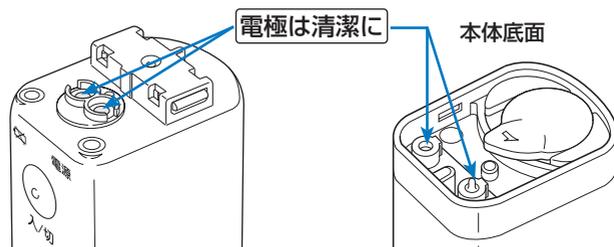
本体の汚れは新しいガーゼで拭き取ってください。
汚れのひどいときは新しいガーゼに水をしみこませたあと、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと別の新しいガーゼで、から拭きしてください。

お願い

本体をベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品で拭かないでください。

使用後は毎回、新しいガーゼに水をしみこませて電極部を拭き取ってください。

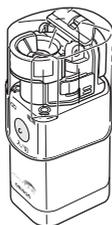
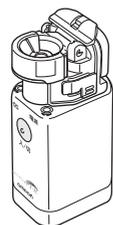
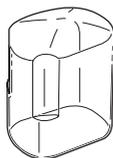
※薬液やホコリが付着していると、噴霧に影響することがあります。



7

清潔な場所に保管する

組み立てた後、本体カバーをかぶせて清潔な場所に保管してください。



警告

洗浄・消毒した部品は、すみやかに乾燥させた上、必ず清潔な場所に保管してください。
• 雑菌が繁殖し、感染する恐れがあります。



※不用意に電源が入るのを防ぐために、使用しないときは本体に本体カバーをかぶせてください。

消毒の方法

下記の作業は必ず非障がい者が行ってください。

この製品は、薬液ボトルやメッシュキャップなどが簡単に取り外せるため、消毒が簡単です。

逆性石けん液を使って消毒します。

※医療現場での消毒は、対象菌と消毒方法の効果を確認の上、おこなってください。

※ご家庭においても、抵抗力の弱い方がご使用になる場合、清潔にお使いいただくために以下の手順で、消毒することをおすすめいたします。

1

0.1%溶液にうすめた*、逆性石けん液（オスバン S など）に、10 分間浸漬します。

* うすめかたは、逆性石けん液の取扱方法に従ってください。

※長時間、液に浸漬したまま放置しないでください。

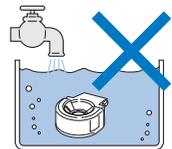
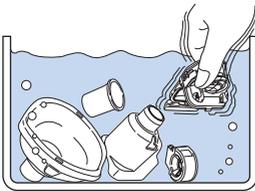
下記の部品は、消毒が可能です。

薬液ボトル
メッシュキャップ
マウスピース
マスクアダプタ
吸入マスク



2

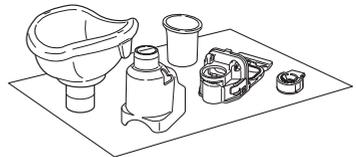
取り出して、水洗いします。



※メッシュキャップは流水で洗わないでください。

3

水分を新しいガーゼで拭き取り、すみやかに乾燥させます。



⚠ 注意

ミルトンなどの次亜塩素酸ナトリウム系の消毒液で消毒しないでください。

• メッシュが錆びて使えなくなります。



メッシュキャップの交換について

下記の作業は必ず非障がい者が行ってください。

メッシュキャップは通常約1年間ご使用いただけます(当社試験結果による)。ただし、ご使用の状態によっては1年以内でも噴霧しなくなることがあります。また、煮沸しても噴霧しなかったり、霧の出が極端に弱くなる場合があります。このようなときにはメッシュキャップを新しいものと交換してください。

(※メッシュキャップは消耗部品です。)

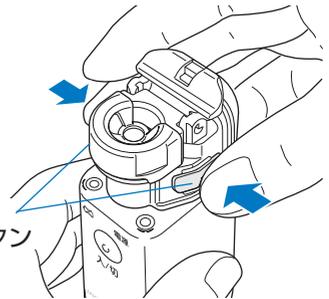
メッシュキャップのお求めや、付属の部品を破損、紛失したときはオムロンお客様サービスセンターにてお求めいただけます。(☞裏表紙)

1

本体から薬液ボトルを取り外す

※両側の薬液ボトル取り外しボタンを押し込み、固定を解除して上方向に持ち上げて取り外します。

薬液ボトル
取り外しボタン



2

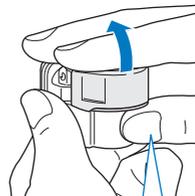
薬液ボトルからメッシュキャップを取り外す

噴霧口に指を入れない!

メッシュの下側をさわらない



親指をつばに当て
上に持ち上げる



薬液ボトル
に対して垂直に
持ち上げる



3

新しいメッシュキャップを取り付ける

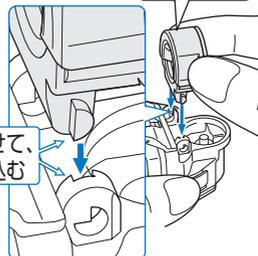
※ご使用になるメッシュキャップにより、噴霧量が変わることがあります。

噴霧口に指を入れない!

メッシュの下側をさわらない



ここを合わせて、
奥まで差し込む



垂直に
差し込む

※パッキンが効くようにしっかり閉めてください。

メッシュキャップは
フタの役目をして
います。

ぐっ



親指で
押す

(さかさまにして薬液がこぼれないか確認しましょう)

携帯のしかた

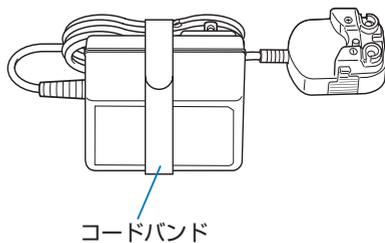
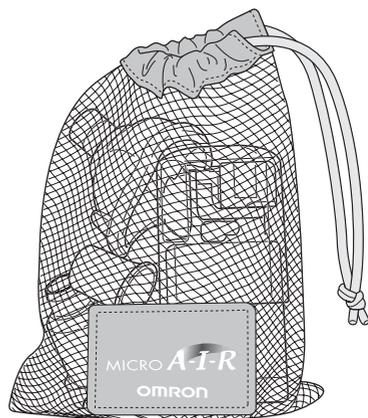
ソフトケースにはマウスピースや吸入マスクなども一緒に入れて携帯することができます。

※この製品を携帯するときは、誤って電源が入ってしまうのを防ぐために、本体に本体カバーをかぶせてください。

※ソフトケースが汚れたときは、洗濯してください。

※ソフトケースには、専用 AC アダプタを一緒に入れないでください。本体が傷つく恐れがあります。

専用 AC アダプタは、電源コードをまとめ、コードバンドで専用 AC アダプタ本体に図のように束ねておいてください。



お願い

薬液ボトルに薬液や水を入れたまま放置したり、携帯しないでください。

- 薬液がこぼれ、本体を傷めたり周囲を汚す恐れがあります。

高温多湿、直射日光のあたる場所には置かないでください。

おかしいな？と思ったら

ご使用中に異常が生じた場合には、まず次の点をお調べください。

こんなとき	考えられる原因	直しかた
薬液が漏れる 噴霧量が落ちた 霧の出かたが極端に少ない	メッシュキャップがしっかり閉まっていない	<p>しっかり閉まっていないと薬液が漏れます パッキンが効くようにしっかり閉めてください</p>  <p>メッシュキャップはフタの役目をしています</p>
	スイッチ側を下にしていない	<p>振動子部分が薬液に浸るようにスイッチ側を下にしてください</p> 
	薬液ボトルを煮沸した	<p>薬液ボトルは煮沸できません オムロンお客様サービスセンターで別売の薬液ボトルをご購入ください (☞裏表紙)</p>
	メッシュが汚れている	<p>メッシュキャップを煮沸洗浄し、汚れを落としてください (☞19・20ページ)</p>
よだれなどでメッシュが目づまりしている	<p>※それでも回復しない場合は新しいメッシュキャップと交換してください (☞23ページ)</p>	
電池交換表示灯が点滅／点灯し、電池が切れかかっている／切れている	<p>新しい乾電池と交換してください (☞12ページ)</p>	
電源表示灯が点灯せず、噴霧しない	乾電池の⊕⊖が間違っている	<p>正しく乾電池を入れてください (☞12ページ)</p>
	乾電池の容量が減っている	<p>新しい乾電池と交換してください (☞12ページ)</p>
	専用 AC アダプタがコンセントや本体接続部に正しく接続されていない	<p>専用 AC アダプタを本体から取り外し、もう一度正しく取り付けください (☞11ページ)</p>
	AC アダプタの本体接続部の接点が汚れている	<p>電極が汚れていると、正常に霧が出ません。汚れを拭き取ってください (☞11ページ)</p>
薬液ボトルが本体に正しく取り付けられていない	<p>正しく取り付けてください (☞14ページ)</p>	

こまったときに・保証など

おかしいな？と思ったら

こんなとき	考えられる原因	直し方
電源表示灯は点灯するが、噴霧しない	薬液ボトルを煮沸した	薬液ボトルは煮沸できません オムロンお客様サービスセンターで別売の薬液ボトルをご購入ください (☞裏表紙)
	薬液ボトルに薬液が入っていない	薬液を入れてください (☞13ページ)
	メッシュが薬液やよだれなどで極端に汚れている	メッシュキャップを煮沸洗浄し、汚れを落としてください (☞19・20ページ) ※それでも回復しない場合は新しいメッシュキャップと交換してください (☞23ページ)
	メッシュが破損している	新しいメッシュキャップと交換してください (☞23ページ)
	薬液が薬液ボトルに供給されていない(振動子に薬液が触れていない)	本体(スイッチ側)を手前に軽く傾けてご使用ください (☞16ページ)
	本体の電極部分に薬液や水などが溜まっている	薬液や水などを吸い取ってください (☞16ページ)
	本体の電極部分が汚れている	汚れを拭き取ってください (☞21ページ)
乾電池の消耗が早い	乾電池が古い	乾電池には電池寿命があります。購入前に、乾電池の有効期限などを確認して購入してください 新しい乾電池でも乾電池のメーカーによって容量に差があります。乾電池を取り替えても乾電池の消耗が早い場合は有名メーカー品のご使用をおすすめします
	薬液ボトル内に薬液が入っていない状態で電源を入れた	薬液を入れていないときは、電源を入れないでください。空運転は機器の破損や電池寿命が短くなる恐れがあります
	持ち運び中に電源が入ってしまった	使用しないときは、本体に本体カバーをかぶせてください (☞21ページ)
	不用意にスイッチを押してしまった	
	マンガン乾電池を使用している	アルカリ乾電池でご使用ください (☞12ページ)

※上記の方法でも、正常に動作しない場合はオムロンお客様サービスセンターまでお問い合わせください。(☞裏表紙)
また、故障等によりご使用になれない場合は、すぐに医師にご相談ください。

仕様／別売品について

仕様

医療機器届出番号	26B1X10002000003
類別	機械器具 76 医療用吸入器
一般的名称	超音波ネブライザ
医療機器分類	一般医療機器
販売名	オムロンメッシュ式ネブライザ NE-U22
電源	AC100V 50/60Hz (専用 AC アダプタ使用)、 DC3V (単 3 形アルカリ乾電池 2 個)
消費電力	約 1.5W*
超音波発振周波数	約 180kHz
噴霧能力	0.25mL/分以上*
噴霧粒子径	MMAD 約 5 μm (CEN/TC215 準拠 自社測定値)
薬液ボトル容量	最大 7mL
外形寸法	幅 38 × 高さ 104 × 奥行 51mm
質量	約 97g (電池含まず)
乾電池寿命	連続約 4 時間* 1 日約 30 分使用で約 8 日間 (アルカリ乾電池使用時)
使用温湿度	10 ~ 40℃ 30 ~ 85% RH
装着部の分類	B 形装着部 (吸入マスク、マウスピース)
電撃保護	AC アダプタ使用時: クラス II 機器 AC アダプタ未使用時: 内部電源機器
付属品	吸入マスク (小)、マウスピース、マスクアダプタ、ソフトケース、予備メッシュキャップ、 専用 AC アダプタ、取扱説明書 (品質保証書付き)、別売パーツの消毒について、 お手入れ説明 DVD、医療機器添付文書
製造販売元	オムロンヘルスケア株式会社 住所: 〒 617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地 電話: 0120-84-6606 (オムロンお客様サービスセンター (ネブライザ窓口))

* 周囲温度 23℃、水温 23℃、マスクアダプタ・マウスピースを接続しない状態で生理食塩水 (2mL) を用いて測定した社内データの代表値

※低温になると、噴霧能力が低下します。

※薬液種類、使用する付属品、吸入される患者様の呼吸動作によって変化します。

※電源を入れてから約 30 分後に自動的に電源が切れる機能がついています。

※改良のため、仕様および外観を予告なく変更することがあります。

EMC 適合 本製品は EMC 規格 IEC 60601-1-2 : 2007 に適合しています。

別売品



U10-1-P
吸入マスク (大)
(ゴムひも付き)



U10-2-P
吸入マスク (小)
(ゴムひも付き)



U22-1
マウスピース



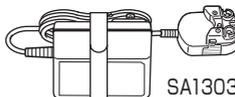
U22-2
マスクアダプタ



U22-3
薬液ボトル



U22-4
メッシュキャップ
(メッシュ付き)



U22-5
専用 AC アダプタ

SA1303-033085US



U22-7
ソフトケース

ごまっただときに・保証など

仕様／別売品について

製品に表示されているシンボルの意味

	クラスⅡ機器
	B形装着部
	取扱説明書をお読みください
	交流
	直流
	屋内専用
	ロット番号
	電源の極性
	エネルギー効率

※お使いの製品によっては、上記のシンボルが製品に表示されていない場合があります。

こまったときに・保証など

仕様／別売品について

製造者による宣言

電磁環境適合性 (EMC) に関する重要情報

PCや携帯電話などの電子機器の数が多くなるに伴い、使用中の医療機器は他の機器からの電磁干渉の影響を受けやすくなる可能性があります。電磁干渉によって医療機器を誤動作させ、潜在的に危険な状況をつくる恐れがあります。医療機器も他の機器を干渉すべきではありません。

危険な製品状況を防ぐことを目的として EMC (電磁環境適合性) の要件規定のため、IEC60601-1-2:2007 規格が施行されました。この規格では、電磁干渉に対する耐性のレベルのほか、医療機器に対する電磁放射の最高レベルも定義しています。オムロンヘルスケア株式会社が製造した本医療機器は、耐性と放射の両方に関して IEC60601-1-2:2007 規格を準拠しています。

それでもなお、特別な予防措置を講じる必要があります。

- 医療機器の近くで携帯電話や他の機器を使用しないでください。使用によって、電場や電磁場を発生させます。これによって機器を誤動作させ、潜在的に危険な状況をつくる恐れがあります。推奨は、最短 7 m の距離を保つことです。距離が近い場合、機器が正しく動作するかを確認してください。

NE-U22 は以下に指定した電磁環境内での使用を意図しています。使用者は、そのような環境内で NE-U22 が使用されることを確認してください。

電磁エミッション：(IEC60601-1-2)

エミッション試験	適合性	電磁環境
RF エミッション CISPR 11	グループ 1	NE-U22 は、内部機能のためだけに RF エネルギーを用いている。したがって、その RF エミッションは、非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
RF エミッション CISPR 11	クラス B	NE-U22 は、住宅環境および住宅環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に直接接続したものを含む全ての施設での使用に適している。
高調波エミッション IEC61000-3-2	クラス A	
電圧変動/フリッカエミッション IEC61000-3-3	適合	

電磁イミュニティ：(IEC60601-1-2)

イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境ガイダンス
静電気放電 (ESD) IEC61000-4-2	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	± 6 kV 接触 ± 8 kV 気中	床は、木材、コンクリートまたはセラミックタイルであることが望ましい。床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも 30 % であることが望ましい。
電氣的ファスト トランジェント/バースト IEC61000-4-4	± 2 kV 電源ライン ± 1 kV 入出力ライン	± 2 kV 電源ライン ± 1 kV 入出力ライン	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましい。
サージ IEC61000-4-5	± 1 kV ライン-ライン間 ± 2 kV ライン-接地間	± 1 kV ライン-ライン間 ± 2 kV ライン-接地間	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましい。
電源入力ラインにおける電圧 ディップ、短時間停電および電 圧変化 IEC61000-4-11	<5 %U _r (>95 %U _r のディップ) 0.5 サイクル間	<5 %U _r (>95 %U _r のディップ) 0.5 サイクル間	電源の品質は、標準的な商用または病院環境と同じであることが望ましい。NE-U22 の使用者が電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合には NE-U22 を無停電電源から電力供給することを推奨する。
	40 %U _r (60 %U _r のディップ) 5 サイクル間	40 %U _r (60 %U _r のディップ) 5 サイクル間	
	70 %U _r (30 %U _r のディップ) 25 サイクル間	70 %U _r (30 %U _r のディップ) 25 サイクル間	
	<5 %U _r (>95 %U _r のディップ) 5 秒間	<5 %U _r (>95 %U _r のディップ) 5 秒間	
電源周波数 (50/60 Hz) 磁界 IEC61000-4-8	3 A/m	3 A/m	電源周波数磁界は、標準的な商用または病院環境における一般的な場所と同レベルの特性を有することが望ましい。

備考：U_r は、試験レベルを加える前の、交流電源電圧である。

電磁イミュニティ：(IEC60601-1-2) (つづき)

イミュニティ試験	IEC60601 試験レベル	適合レベル	電磁環境ガイダンス
伝導 RF IEC 61000-4-6	3 V rms 150 kHz ~ 80 MHz	3 V rms	携帯および移動 RF 通信機器は、ケーブルを含めこの NE-U22 のいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する等式から計算された推奨分離距離より近づけて使用してはならない。 推奨分離距離 $d = 1.2 \sqrt{P}$ 150 kHz ~ 80 MHz
放射 RF IEC 61000-4-3	3 V/m 80 MHz ~ 2.5 GHz	3 V/m	$d = 1.2 \sqrt{P}$ 80 MHz ~ 800 MHz $d = 2.3 \sqrt{P}$ 800 MHz ~ 2.5 GHz ここに P は、送信機製造会社による送信機のワット (W) で表した最大出力電力定格で、d はメートル (m) で表した推奨分離距離である。 現場電磁調査 *3 によって決定したように、固定 RF 送信機からの電界強度は、各周波数帯域 *4 における適合レベルよりも低くなければならない。 次の記号が表示されている機器の近傍では干渉がはじまるかもしれない： 
備考 1 80 MHz および 800 MHz においては、高い周波数範囲を適用する。 備考 2 これらのガイドラインは全ての状況に対して適用するものではない。電磁拡散は建築物、物、人からの反射と吸収に影響される。			
*3) 例えば無線電話基地局 (携帯/コードレス) と陸上移動無線、アマチュア無線、AM・FM ラジオ放送および TV 放送の基地局のような固定送信機からの電界強度を正確に理論的に予測することはできない。固定 RF 送信機による電磁環境を正しく判断するためには、現場電磁調査を考慮すること。その NE-U22 が使用される場所において測定した電界強度が上記の適用される RF 適合レベルを超える場合は、その NE-U22 が正常動作をするかを検証するために監視すること。異常動作が確認された場合には、その NE-U22 の再編成または再設置のような追加対策が必要となるかもしれない。 *4) 150 kHz ~ 80 MHz 周波数帯域外に対して、電界強度は 3 V/m 未満であることが望ましい。			

推奨分離距離

携帯および移動 RF 通信機器と NE-U22 間の推奨分離距離

NE-U22 は、RF 妨害が管理されている電磁環境内での使用を意図している。NE-U22 の使用者は、送信機の最大出力時に基づく下記に推奨している携帯および移動 RF 通信機器 (送信機) と NE-U22 との最小距離を管理することで、電磁妨害を阻止することを促進できる。

送信機の最大出力電力定格	送信機の周波数に基づく分離距離 (m)		
	150 kHz ~ 80 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	80 MHz ~ 800 MHz $d = 1.2 \sqrt{P}$	800 MHz ~ 2.5 GHz $d = 2.3 \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

上記にリストされていない最大出力電力の定格の送信機に対しては、メートル (m) で表した推奨分離距離 d は、送信機の周波数に対応する様式を用いて決定できる。等式における P は送信機製造者によるワット (W) で表した送信機の最大出力電力の定格である。

備考 1 80 MHz および 800 MHz においては、分離距離は高い周波数帯域を適用する。
備考 2 これらのガイドラインは全ての状況に対して適用するものではない。電磁拡散は建築物、物、人からの反射と吸収に影響される。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後 1 年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
2. 無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、オムロンお客様サービスセンターにご連絡ください。
3. 無償保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷。
 - (ニ) 品質保証書の提示がない場合。
 - (ホ) 品質保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (ヘ) 消耗部品。
 - (ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - (チ) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 品質保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5. 品質保証書は本規定に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 補修用部品は製造打ち切り後、最低 5 年間保有しています。

品質保証書

このたびは、オムロン製品をお買い求めいただきありがとうございました。製品は厳重な検査をおこない高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理または交換いたします。

※製品の保証は、日本国内での使用の場合に限りです。

This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただくください。

販売名 オムロンメッシュ式ネブライザ

NE-U22

ご芳名

ご住所

TEL ()

お買い上げ店名

印

住 所

TEL ()

お買い上げ年月日 年 月 日

製造販売元

オムロンヘルスケア株式会社

〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪 53 番地



製品のお問い合わせ、別売品や消耗品のご注文、修理のご依頼は

オムロンヘルスケア お客様サポート

<http://www.healthcare.omron.co.jp/support/>

消耗品・別売品のご注文は

<http://store.healthcare.omron.co.jp/>

オムロン お客様サービスセンター

TEL 0120-84-6606 (通話料無料) FAX 0120-10-1625 (通話料無料)

受付時間 9:00~19:00(土・日・祝日は、9:00~17:00年末年始を除く)

〒515-8503 三重県松阪市久保町1855-370 ※都合により、お休みや受付時間の変更をさせていただく場合があります。